

令和6年度 嶺北特別支援学校スクールプラン

学校業務改善のための取組

- ・時間管理を意識した会議運営(会議時間の縮減を意識して議事を進行し、効率的に会議を行う)。
- ・各学部、校務部で業務改善に取り組みそうなことを話し合い、ICT機器を活用した業務改善に取り組む。

具体的取組

連絡アプリを使った遅刻、欠席連絡やお便り等の配信、Webフォームを利用したアンケート調査、オンライン会議ツールを活用した研修やオンラインミーティングなど、学校全体としてICT機器を活用した業務改善を図る。

目標:(情報管理部)

学校全体としてICT機器を活用した業務改善に取り組み、業務の負担削減や在校時間の縮減に努める。(90%以上)

人権教育の推進

- ・いじめやハラスメント防止を徹底し、一人一人を大切にすること人権意識を高める。
- ・障がい特性を理解し、児童生徒の自己肯定感を高めると共に他者を認める力を育成する。

具体的取組

児童生徒の障がい特性を理解し、自己や他者を大切にすること指導を行う。

目標:(図書研究部)

児童生徒の自己肯定感を高めたり、相手を認める力を育成したりする。(90%以上)

重点目標

児童生徒の能力と可能性を最大限に伸ばし自立できる子どもを育てる。
(自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動する)

全ての児童生徒が安心して
安全で豊かな学校生活を送る学校を目指す。

学部や社会とのつながりを意識した
教育・支援を実践する。

教育課程・学習支援(共通)

小学部低学年	小学部高学年	中学部	高等部
具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組
自ら行動したり、自己表現したりする態度を養うために、安心できる環境設定や関わりを努め、教師間で動画記録などを振り返りながら個の発達段階やニーズに応じた適切な支援について検討する。	児童が体力を向上していくるように、年間を通して学年やクラス活動にランニングや体操、筋力トレーニングなどを取り入れる。体育の時間やおはようタイムなどの全体で発表の時間を設け、児童の頑張る場面を共有し賞賛することで、児童の意欲を高める。	教員間で話し合いを行い、生徒一人一人に対しての適切な指導・支援を共有、実践する。様々な集団活動の中で、生徒が自ら思いを伝えたり、相手の考えを受け入れたりできる場面や協力し合う活動内容を設定し、心身の成長を育む。	卒業後の生活を見据え、社会参加への関心と意欲を高めるために、現場実習を柱として、地域と連携し、個々の力を伸ばす学習活動(校外での体験・協働、外部講師の招聘等)を推進する。
目標: 児童一人一人の実態に合わせて、教師間で検討した内容を支援に取り入れる。 90%以上	目標: 個に応じた体力向上を図り、健康な体を育てるとともに、自発的に体を動かす態度を育てる。 90%以上	目標: 個々の実態に応じた適切な支援を行うとともに、進んで思いを伝え合い、仲間と協力し合う学習活動の場を積極的に取り入れる。 90%以上	目標: 地域と連携し、かつ一人一人を伸ばす活動を積極的に取り入れる。 90%以上
・安心して自ら行動したり自己表現したりできる環境設定 ・動画記録等を使った振り返りと授業改善	・児童の体力向上 ・自発的に体を動かす態度の育成	・個に応じた指導・支援の共有と実践 ・仲間と協力し合う学習場面の設定	・一人一人を伸ばす学習活動の実施 ・地域との協働活動設定

自立支援

舎務部
具体的取組
保護者や学校との連携を密にし、寄宿舎生一人一人の実態や目標、支援方法を共有する。また、寄宿舎生が生活の中で、成功体験を積み重ねることができるところを設定し、自立につなげる。
目標: 寄宿舎生活を通して、規則正しい生活習慣を身に付けるために保護者と連携する。 90%以上
・保護者や学校との情報共有の場面設定 ・主体的行動力を育む成功体験の機会設定

健康・安全

保健部
具体的取組
防災や応急処置の訓練や研修に取り組み、児童生徒の安全確保に関する意識を高める。
目標: 避難訓練(火災・地震・水害)や応急処置等の研修の際、マニュアルやアクションカードに目を通し、流れや役割を理解し、行動する。 90%以上
・防災や応急処置に関する訓練や研修の実施 ・非常時に対する意識向上

生徒支援(共通)

指導部	地域支援部
具体的取組	具体的取組
各学部体育大会や文化祭などの学校行事において、児童生徒が活躍できるように工夫する。	校内の各種委員会や各学部の支援会議などに参加し、児童生徒の状況を把握し課題について共有する。必要に応じてSCやSSWの活用方法や福祉情報を提供することで、よりよい支援につなげる。
目標: 個々の実態に応じて、児童生徒が意欲を持ち、活躍できるように活動内容を創意工夫する。 90%以上	目標: 児童生徒や保護者、教職員に対し、SCやSSWの活用方法や福祉情報などについて、「WITH」やポスターなどを通して発信する。 90%以上
・児童生徒の意欲を高める行事の開催 ・全ての児童生徒が活躍できる行事内容の創意工夫	・児童生徒支援のためのSC,SSW活用 ・地域支援通信による情報発信

進路支援(共通)

進路指導部
具体的取組
関係機関との連携を通して収集した進路情報を教職員間で共有し、進路説明会や懇談時に積極的に保護者に提供する。
目標: 進路情報を教職員間で共有し、発達段階に応じた情報発信・進路支援を行う。 90%以上
・進路情報の収集と教職員間での共有 ・保護者への積極的な情報発信

保護者との連携

渉外部
具体的取組
学校行事やPTA行事などで保護者の参加する機会を増やし、PTA活動の充実を図る。
目標: 学校行事やPTA行事などの機会を通して、積極的に保護者との情報交換を行う。 90%以上
・行事への保護者参加と情報交換の機会設定